

困ったときに頼れる電気屋さんになりました

前沢電気



前澤康雄氏

柏崎市新花町4-19
Tel.23-3033 Fax.23-3190

業後は新潟市で会社勤めをしました。仕事内容は、コンピューターで会社の総務のシステムを作ったりしたそうです。また、自動車学校へ出向き、予約や配車のシステムの制作、管理などもされました。

七年後、帰柏。しばらくはゆつくりしようと思っていました。が、ご実家に戻ってきたので、軽い気持ちで家業の手伝いをしました。

お父さまは言葉では教えないタイプだったそうです。まさに職人さん。お父さまが亡くなるまでの十二年間、そばで学ぶことができました。また、工業高校で電気工事士の免許を取ったこと、専門学校でコンピューターの勉強をしたことも、今の仕事に活かされています。

仕事をしていて、嬉しい時はどんな時ですか？とお聞きすると、「お客さまと近く、感謝してもらうことが嬉しい」と話して下さいました。困ったときに駆けつけてくれることは、お客さまにとつて一番心強いです。

趣味をお聞きすると、高校生のとき写真部に入り、三十才ころまで鉄道や祭りの写真を撮りに行っていたそうです。

そして新潟市にいたころ、サッカー

多くの人がタイヤ交換を終えたであろう三月下旬、久しぶりのアラレが降り、厚手のコートを引っ張り出した日、新花町にある前沢電気さんにお伺いしました。

前沢電気さんは昭和五十四年、お父さまの行雄さんが設立しました。ここに店を構えようかと探しましたが、お母さまのご実家の車庫を改装したと、外で写真撮影のときお母さまから教えていただきました。

一人息子の康雄さんは、昭和四十八年生まれ、柏崎小、一中、柏崎工業高校電気科を卒業後、新潟市の専門学校に進学しました。

ここまでお話を聞いて、これはきっと家業の電気屋さんを継ぐために進んだのだな、と思いました。

しかし、専門学校はコンピューターと簿記の勉強をされたとのこと。卒

アルビレックスの試合を観に行く機会が多く、初めはサッカーにあまり興味はありませんでしたが、観に行くうちにファンになり、今では全国に応援に行くそうです。敵チームの会場では応援が少くなる傾向にありますが、アルビレックスのサポーターは大勢の方が応援に行くそうです。前澤さんも、行った会場でサポーター仲間に出会えることをとても楽しみにしています。今年、新型コロナウイルスの影響で、試合が行われなかったため、応援に行けなくなっていました。同行者のMさんもサッカー好きなので、しばらくサッカー話に花が咲きました。とても楽しそうに話されていて、私も興味が湧きました。早く試合が再開され、全国へ応援の旅に行けるといいですね。

(十人衆(若・町)取材)

